

# 令和3年第1回三笠市議会臨時会

令和3年1月13日（第1日目）

## ○議事次第（第1号）

- 1 開会宣告
- 2 会議録署名議員の指名  
5番 畠山 幸氏  
6番 澤田 益治氏
- 3 会期の決定  
令和3年1月13日  
令和3年1月13日  
1日間
- 4 諸般報告
- 5 議 事
- 6 閉会宣告

## ○議事日程

- |       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 日程第 1 | 会議録署名議員の指名について                    |
| 日程第 2 | 会期の決定について                         |
| 日程第 3 | 諸般報告について（一般行政報告）                  |
| 日程第 4 | 議案第 1号 令和2年度三笠市一般会計補正予算（第11回）について |

## ○出席議員（10名）

議長	8番 武田 悌一氏	副議長	7番 谷内 純哉氏
	2番 浅尾 三吉氏		3番 折笠 弘忠氏
	4番 只野 勝利氏		5番 畠山 幸氏
	6番 澤田 益治氏		9番 儀惣 淳一氏
	10番 谷津 邦夫氏		

## ○欠席議員（1名）

1番 赤川 征視氏

## ○説明員

市長	西城 賢策氏	副市長	右田 敏氏
総務福祉部長兼 新型コロナウイルス感染症 対策本部事務局長	金子 満氏	総務課長	藤井 陽一氏

市民生活課長	中川学氏	保健福祉課長兼 地域包括支援センター長	花井志夫氏
企画財政部長	小田弘幸氏	企画調整課長	三好智幸氏
税務財政課長	坂保徳氏	経済建設部長	松本裕樹氏
建設課長兼 新型コロナウイルス感染症 対策本部事務局次長	力弓晃継氏	教育長兼 教育委員会次長事務取扱	高森裕司氏
病院事務局長	高田進氏	消防長	下村義則氏
生活安全センター長	太田幸司氏	監査委員	内田克広氏
監査委員事務局長	豊口哲也氏		

---

○出席事務局職員

議会事務局長	柳谷忍氏	議会係長	若月厚志氏
主任主事	青山初美氏		

開会 午前10時00分

---

◎開 会 宣 告

---

◎議長（武田悌一氏） ただいまから、令和3年第1回三笠市議会臨時会を開会します。

---

◎開 議 宣 告

---

◎議長（武田悌一氏） これより、本日の会議を開きます。

---

◎日程第1 会議録署名議員の指名

---

◎議長（武田悌一氏） 日程の1 会議録署名議員の指名についてを議題とします。  
会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、5番畠山議員及び6番澤田議員を指名します。

---

◎日程第2 会 期 の 決 定

---

◎議長（武田悌一氏） 日程の2 会期の決定についてを議題とします。  
お諮りします。  
今臨時会の会期は、本日1月13日の1日間としたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。  
会期は、1日間と決定しました。

---

◎日程第3 諸 般 報 告

---

◎議長（武田悌一氏） 日程の3 諸般報告に入ります。  
一般行政報告を行います。  
市長から報告を求めます。  
市長、登壇願います。市長。

（市長西城賢策氏 登壇）

◎市長（西城賢策氏） それでは、行政報告を申し上げます。  
報告第1号の三笠市特別豪雪対策本部の設置についてであります。昨年12月21日に部長職を中心とした三笠市雪害対策連絡会議を設置していたところでありますが、12

月末時点で記録的な豪雪であった平成23年の降雪量を上回ったこと、さらには消防署で昭和43年から計測を始めて以降、最高の降雪量となったことから、市民生活の安全・安心を守るため各種対策を推し進める必要があると判断し、連絡会議を格上げし、1月5日午前10時、三笠市特別豪雪対策本部を設置したところであります。

行政報告につきましては、以上でございます。

◎議長（武田悌一氏） これより、一般行政報告に対する質疑を受けます。

報告第1号消防本部関係について。

只野議員。

◎4番（只野勝利氏） 特別豪雪対策本部設置ということで、もっと被害が大きくなると雪害対策本部に格上げするということですね。それで、具体的にはどういう被害が出たら、そういうふうな格上げされるのでしょうか。

◎議長（武田悌一氏） 消防長。

◎消防長（下村義則氏） おっしゃるとおり、これ以上被害が拡大されたら、さらに最高位の雪害対策本部を設置ということになります。具体的に言いますと、例えば平成23年度の状況で申しますと、完全に住宅街が孤立するですとか、車両が全く通れない通行状態になるですとか、市内の除排雪能力の許容範囲を超えているとか、市民生活に甚大な影響を及ぼしたときに、さらに格上げして雪害対策本部を設置、さらに自衛隊への応援要請と、こういう過程になると考えております。

◎議長（武田悌一氏） 只野議員。

◎4番（只野勝利氏） そういうことにならないようにとは思いますが。

先日、HBCテレビのニュース、ネット配信で見たのですけれども、名前が「豪雪・岩見沢より雪の多いマチ」ということで、消防の人たちに密着取材という形で幾春別のところを回ってあれして、それでいろいろ豪雪、ひどい状態というのをニュースで流していましたが、積雪がそのとき189センチということで、そのニュースの中では、同じ日に岩見沢は144センチだったという形で紹介されていて、特に大きく騒がれないのは三笠の地域にアメダスがないからだということも紹介されていました。

観測地点がないために、なかなかこの豪雪がアピールできていないというところがあるということをおっしゃるのですけれども、アメダス設置というのは、何か基準とか、そういうのはあるのでしょうか。

◎議長（武田悌一氏） 消防長。

◎消防長（下村義則氏） 気象庁のほうで定めた基準がありまして、それに基づいて現在のアメダスは設置されております。市長からも度々うちのほうに、もっと要望しろということをおっしゃるので、事あるごとに気象台のほうに要望はしているのですが、現在、気象台の回答としましては、気象観測のアメダス自体がもう古くなってきていると。現在のアメダスの維持管理をするだけで目いっぱいだと。今、次の新しい気象観測の開発に取り組んでいるので、新しくアメダスを設置することは非常に厳しいという回答はいた

だいているのですけれども、それでも市長からそういった話も言われておりますので、アメダスの設置に関しましては、継続的に札幌管区気象台を通じまして要望しているところでございます。

◎議長（武田悌一氏） 只野議員。

◎4番（只野勝利氏） ぜひ、そういうふうにお願いします。気象庁も、もともと人が測候所にいたりしたのを、それを全部いなくして経費を削っているいろいろやっていますので、それで災害ということになると、そういう重要性があるので、ぜひその辺は、いろいろ大変ですが、お願いします。

◎議長（武田悌一氏） ほかに質疑ありませんか。

澤田議員。

◎6番（澤田益治氏） 今も只野議員が質問しましたけれども、私も前、質問させてもらったのですが、アメダスの関係は、私の記憶の中では、日の出の開発局の事務所と上幌向の事務所の2か所あると思っています。

それで、市長は昨年、市政報告会の中で、奔別地区のダムの関係で、やっぱり三笠の地形的な問題があって、あそこには雨、雪が集中するのだということを報告されていますので、今言われたように、国に対してはやっぱりそういう特殊性があるということを常に強調していかなければならないのです。ましてや今度、国もダムのかさ上げもしているところですから、やっぱりそこにどれだけの量の雪が降るかということを調査しなければならんというのは国の責任だと思いますので、そういう点で強く要望してほしいなど。

それと、もう一点は、この豪雪でもって市民の皆さんからいろいろ苦情が来るのですけれども、業者さんが多々悪いわけではなくて、昨年のようにほとんど雪が降らなくて商売もない、そういう状況で、冬の仕事の状況でいけば、ほとんど農家の機械を持っている人がそういう業者さんに冬のアルバイトで行くような形なのですが、この頃だんだん単価が下がってきて、そこへ行くのはやめてしまったと。言われてみれば、技術が落ちてなかなかきれいな除雪ができていないということがあるので、そういう点での指導も力を入れてやってほしいと。雪のことですからあまり言いたくはないのですが、春になれば解けるものですが、ただ、困っている間はそれに目が行っているものですから、そこら辺ちょっと力を入れてほしいなというお願いです。

◎議長（武田悌一氏） 市長。

◎市長（西城賢策氏） ありがとうございます。

除雪の仕方の問題については、私も今回非常に感じまして、昔は結構昼でも除雪をやったのですよね。ところが、最近では、何度か事故が繰り返されたということも含めて、本当に深夜にやって、朝からは除雪をしないという状況になって、早い業者さんですと、私が承知している中では、皆さん大体夜中の11時ぐらいから、そしてもう3時か4時には終わらせてしまうというようなことが起きるものですから、そうすると、それからの時間、すごいあるわけですよ、実に。例えば歩道除雪で言うと、私なんか出勤するときには、

もう雪をこがなければならぬわけです。

ですから、その点の1つがあるのと、もう一つは、もうある程度出勤する時間に雪が積もっていると、それを今度、車が通りますから、圧雪状態になって、道路が馬の背みたいになっていく。その仕方の問題が1つあるのと、やっぱり業者さんは業者さんなりに自己防衛しなければならない部分もありますから、それはもう当然だと思っているのですけれども、その辺の解消が少しされていかなければならぬのかなど。ただ、当然、建設労働者の少なくなっているという関係もありますし、今、御指摘のようなこともありますから、非常に難しい問題なのだろうと思います。そこはよく業者さんともお話をしながら、また所管で詰めてまいりたいというふうに思いますので、よろしくお願ひします。

それから、今のアメダスの関係なのですが、消防長はああいうふうに言っていたのですけれども、あのとおりなのです。ただ、これは私、もう4年くらいになりましょうか、気象庁に言っているのですよ。札幌の気象台の担当部長が、昇格した形ということになるのでしょうかけれども、気象庁のほうに行って、向こうの計画課長さんになったのですね。それで、何としても要望してこようと思って伺ったのですけれども、消防長が言うとおおり、アメダスは古いのだと、だからもう今後は衛星で監視して全部予測する時代なのだ。それもあるのかもしれないけれども、それからもうこれだけ数年たって相変わらず同じことをやっているのですよ。アメダスは貴重なのですよ、彼らにとっても相変わらず。

ですから、私そのときに、うちが設置していいからと。お金がかかるのだったらうちが設置するから、だからそれをアメダスとしてちゃんと気象庁のほうで扱ってくれというふうに話したのですけれども、それでものりくらりで結局話を受けてもらえない。そういうものなのでしょうね、ああいう方々のお仕事は。しかし、私もそれは非常に残念なので、そういうことで、またしつこく消防本部に指示しているのですけれども、私自身も動きながらやってきていますので、何とかしてアメダスの設置をさせられないかと。

今、御指摘のとおりです。非常に心配だから、今、ダムが2つできるわけで、そういうまちなのだし、いつも言うように、後ろに八百数十メートルの奔別岳があって、そのさらに奥には芦別岳、幾春別岳、夕張岳という1,000メートルを超える山が並んでいて、石狩湾から斜めに風が吹くと、全部岩見沢と三笠に入ってくると。それで、美唄川の山裾を走ると。結局、奔別川に思い切り雪を落とす、そしてさらに奥に雪を落とすという状態ですから、やっぱりこれを分かってもらわなければならぬのですけれども、ただ、私が見ている範囲では、冬の雪は確かに私どもすごく多いのですけれども、夏になるとほとんど岩見沢と同じような気象状態になるということなものですから、そのところがちょっと弱いのですね、はっきり申し上げて。ただ、それにしても、やっぱり雪のことも含めてしっかり要望していきたいと思ひますし、これはそういう体質ですから、簡単に受け入れられるとはなかなか思ひにくいのですけれども、なお努力してまいりたいというふうに思ひます。

どうもありがとうございます。

◎議長（武田悌一氏） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 質疑ないようですから、一般行政報告については、報告済みとします。

以上をもちまして、諸般報告を終わります。

---

◎日程第4 議案第1号 令和2年度三笠市一般会計補正予算  
（第11回）について

---

◎議長（武田悌一氏） 日程の4 議案第1号令和2年度三笠市一般会計補正予算（第11回）についてを議題とします。

市長から提案理由の説明を求めます。

市長、登壇願います。市長。

（市長西城賢策氏 登壇）

◎市長（西城賢策氏） 議案第1号令和2年度三笠市一般会計補正予算（第11回）について、提案説明申し上げます。

今回の補正は、豪雪に伴う除排雪費用を緊急的に措置するため、既定予算額11億5,067万8,000円に5億2,307万6,000円を追加し、予算の総額を120億7,375万4,000円とするものであります。

まず、歳出であります。豪雪に伴い、道路除雪費が当初の見込みを大幅に超えることから、除排雪経費を増額措置するものであります。

また、ぬくもり除雪サービスの利用増加への対応のほか、市役所庁舎などを含めた公共施設の除雪費など、必要な経費を増額措置するものであります。

一方、歳入については、備荒資金の取崩しにより、一般財源に5億2,307万6,000円を措置するものであります。

以上、提案説明といたしますので、御審議くださいますようお願い申し上げます。

◎議長（武田悌一氏） これより、質疑を受けます。質疑のある方は発言願います。

谷津議員。

◎10番（谷津邦夫氏） 今、市長提案があったように、緊急事態だというふうに思っています。ちょうど私が、今ずっと資料を見ながら思い起こすと、ちょうど10年前なのです。その前が、雪害対策特別委員会をつくったときには11年目だったのですよ。大体10年スパンでこんなことが起きるのかなというのは、何となく統計上感じるわけです。

それで、今ここに、手元に、当時、平成24年の豪雪被害に関わる緊急要請書を作って、国に向けたり、各政治家に向けていろんな運動、行動をしたことは昨日のように覚えているのですけれども、そのときにいろんなことを考えたときに、やはり特別交付税をど

うしても少しでも多く、国に訴えて理解を得ようということでのいろんな展開をしたのですが、それで市長も、特別交付税に向けて今回もこういう要請書をつくって特別なこういうふうな形での展開をするのかどうか、これちょっと見解をいただきたいと思います。

◎議長（武田悌一氏） 市長。

◎市長（西城賢策氏） そういう行動をすべき時点を判断したいというふうに思います。今の時点で大体私どもは、現計予算額で約90%ぐらいの支出かなというふうに思っています。12月末で大体60%支出という状態でしたので、それ以降また雪が降っていますから、現状で大体90%ぐらいの支出だろうと思います。

今はもう補正はお願いするわけですがけれども、雪の状態はもう少し見る必要があるだろうと。その状況で、私どもとしても通常の特別交付税要望は当然、今行う予定でありますけれども、それに加えて、今のような要望書を作ってやっていくべきかということについて判断してまいりたいというふうに思います。

特別交付税については例年1月末くらいにお願いをしに行っているということなのですが、どうも今のこのコロナの状態では要望に行けるのかどうかというのが、もう一つ分からないと。何らかの情報が入ってくるというふうに二、三日前聞こえているのですが、今のところまだ何の情報も入ってきませんで、そもそも省庁に入れるのかどうかというようなこともどうもあるようでございまして、その辺もう少し調べて、その上で谷津議員の御指摘のような要望活動についても必要があるとなれば直ちに動きたいというふうに思っています。

◎議長（武田悌一氏） 谷津議員。

◎10番（谷津邦夫氏） 今回の豪雪、この地域のことで私どもは訴えていますけれども、なかなか全国的に見ると、知ってのとおり北陸を含めてあまりまちがインパクト強いものですから、かなりそっちのほうも運動展開するというふうに考えられます。

そんな中で、前回作ったときに具体的な数字を出しているのですよ。前回で2億5,000万円ぐらいの補正をして、これどういう算出根拠か分からんけれども、13億円を特別交付税として認めてくれと、そういう運動をした展開があります。そんなことからして、市長は当然こうやっっているいろんな形でやってくれていますけれども、知ってのとおり1月が特別交付税に向けたいろんなアクションを起こす時期だと思っています。それで、ここにいる議員もそれぞれ国会議員の先生方とつながっていますので、やはり政治的なことも含めて、ぜひこういう形で1月付のを作ってほしいなというふうに思うのですけれども、それはいかがでしょうか。

◎議長（武田悌一氏） 市長。

◎市長（西城賢策氏） もうぜひぜひそういう動きはしていただければ大変ありがたいというふうに思います。それぞれつながっていらっしゃる国会議員もいらっしゃると思いますので、ぜひぜひと思いますし、また、昨日私のところに道議会議員である方が来られて、いろいろ雪の状態を見たい、それから知りたいということでありましたので、私なり



に作った資料をちょっと御説明申し上げたということでありますけれども、その際、私、最後に、道としても何らかの財政支援できないかと、これだけ集中的にうちと岩見沢がやられていると。雪の量で言いますと、岩見沢は多い多いと報道されますけれども、現状で岩見沢の雪に対して三笠地区、この地域で大体1.5倍の降雪量です。幾春別は1.8倍です、実に。例年、岩見沢の雪と比べますと、大体2割から4割、うちが多いという状態なのですけれども、これを大きく超える状態に今あるというふうに考えております。5か年平均で見ても、三笠地区で1.2倍、幾春別地区で1.6倍という状態でありますから、岩見沢と比較して大きな変化があると。こういう折れ線グラフをつくってありまして、12月いっぱいまでは実績なのですけれども、それから月ごとの過去の実績データから直線回帰で予測値をつくりまして、月ごとに予測値をつくっていくと、こういうラインになります。これを大体、私、特別交付税要望のときには持って行って、そういうのはちょっと失礼かもしれないけれども、ほかのまちとの比較もちょっと持っていきまして、何ともしっかり頼むということをやりました。

思い起こせば、平成23年から24年にかけての雪だったと思いますけれども、私の家に、まだ当時、私、副市長でしたけれども、当時の小平議員から直接お電話いただいて、何ほ欲しいのよと、ごちゃごちゃ言うなど、一発言えと、欲しいだけ言えと。だから、そのときは、私の記憶では、私、15億円と言ったと思いますけれども、13億円ぐらい確保していただけて大変助かったという記憶があります。そういう点では、これから若干もう少し推移を見る必要があると思いますが、それによって谷津議員おっしゃっていただいているような行動もしたいと思いますので、ぜひぜひその際は御協力をお願いしたいと思います。

◎議長（武田悌一氏） 谷津議員。

◎10番（谷津邦夫氏） 国会議員相手だとか、道議会議員もそうなのですけれども、こういうものがなければ、三笠市議会としてやったって、これは手前みそのことでやってしまうので、やっぱり三笠市として要望書をぜひ作っていただいて、そういうことで今後展開をしていきたいなというふうに私は思いますので、ぜひよろしく取り計らいお願いしたいと思います。

以上です。

◎議長（武田悌一氏） ほかに質疑ありませんか。

只野議員。

◎4番（只野勝利氏） 予算がかなり、5億円を超える補正を組んだということで、単価も上がっているのでしょうけれども、ただ、これだけ予算を組んだので、市民生活が安心できるだけの除排雪をしていただきたいと思うのですが、ただ、1点だけちょっと確認というか、以前、結構、公共施設の屋根の修理とかが連続して起きていたときもあったと思うのですが、今回も予算を組まれていますけれども、ぜひそういう部分にも配慮してやっていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

◎議長（武田悌一氏） 企画財政部長。

◎企画財政部長（小田弘幸氏） 今回の補正につきましては2,122万7,000円ということで、公共施設の部分も含めて補正はしているわけなのですが、もともと公共施設の屋根の雪下ろしという形の中で予算を持っておりまして、今回この2,122万7,000円の補正の中に37施設の公共施設の屋根雪、さらに1回分程度の除雪経費を見ているわけです。それと、あと職員も含めて、常日頃、公共施設の状況を確認しながら、危険のない範囲の中で職員自らもやはり除雪含めてやる体制を整えておりますので、何とかそういう形の中で除排雪をやってきたいというふうに思っております。

（「お願いします」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） よろしいですか。

ほかに質疑のある方。

谷内議員。

◎7番（谷内純哉氏） 除雪に関わる行政の皆さん、また、各企業の皆さんも、この豪雪に対して一生懸命行動されて、休みも返上して奮闘されていることに、まずもって感謝を申し上げたいと思います。

その中で、12月25日の新聞に、三笠シルバー人材センターの関係でコロナでの減収の市民対象に除雪要員の募集を行ったとありますが、今の現状どうなっているか、お聞きしたいと思います。

◎議長（武田悌一氏） 総務福祉部長。

◎総務福祉部長（金子 満氏） 議員がおっしゃるとおり、25日に新聞報道されてございまして、その後に新聞折り込みで社協自らチラシを27日に入れたところとございまして。これで、最近の状況、ちょっと私の聞いた範囲ですけれども、6名ほど応募していただいたということで、現在、登録者は46名ほどで登録されているというようなことを聞いてございます。

以上でございます。

◎議長（武田悌一氏） 谷内議員。

◎7番（谷内純哉氏） それに併せて、ぬくもり除雪サービスの関係で100万円の予算を立てておりますけれども、これについては現状のぬくもり除雪、協力していただいている方、今まで以上に活動というか、出勤が多いかと思うのです。その中で、その辺の配慮というか、多分燃料もかなり使っているかと思うのですが、その辺の配慮はこの中に入っていますでしょうか。

◎議長（武田悌一氏） 総務福祉部長。

◎総務福祉部長（金子 満氏） 実際に多い件数になってございます。これは年間契約でやってございます。あと、それ以外については単価契約でやってございますので、その部分については、回数が出れば配慮していかねばならないということになるかと思っております。

実際に今回の100万円なのですけれども、例年、予算では1,600万円程度見てございまして、例年そこまでは使っていないくて、23年度のときに、そのときも1回補正していただきました。そのとき見た限りでは、1,500万円ぐらいまでいってございましたので、通常であれば予算内で間に合うかなと思います。今年このような雪になってございますので、さらに100万円を補正させていただいて、その辺の対応を万全にできればいいかなというふうに考えているところでございます。

以上です。

◎議長（武田悌一氏） 谷内議員。

◎7番（谷内純哉氏） ぬくもり除雪の関係の協力していただいている方も高齢化になっているということでございます。結構、老骨にむちを打って市民の皆さん、協力していただいているのだなと思っております。ぜひその辺、体調も聞きながら行政として見てあげて、お金ではなくて声をかけていただければと思います。

最後に、できればこういう状況です。もし一言いただければ、市長、市民に向けてもう少し我慢してほしいという思いを伝えていただければと思うのですけれども、よろしくお願いします。

◎議長（武田悌一氏） 市長。

◎市長（西城賢策氏） 我慢というか、私どもの仕事は、とにかく市民が苦しい部分があれば、それを最大限応援するというのが私どもの立場だと。応援にも確かに限度はありますけれども、ここまで、ぬくもり除雪は直接ではありませんけれども、雪が降り始めて、ちょっと多いなと私思ひ始めた頃から、直ちに動き出せということで職員に指示を出しております。その結果、今日までの状態で、12月中に職員を、高齢者、それからいわゆる社会的弱者といえますか、そういう方々のところに回らせたのが7回です。1月に入ってから既に3回行ってございまして、一番多いときには517件という件数の日もありましたけれども、今のところこれらを延べで全部積算いたしますと、1,802件回ったという状態になっております。このうち9件の方が非常に屋根の雪も心配だということでありまして、これは市の職員が行って雪下ろしをしてくれたと。大変職員には私のほうで感謝をしている状況であります。

それから、道路除雪で言いますと、例年、除雪の出動件数というのが大体12月で、これ昨年の例で言うと8回なのですが、今年は実に17回、倍以上出たということになってございまして、1月に入りましてからも、例年ですと12日までのデータでは2回なのですけれども、これがもう既に8回出ているという状況です。

したがって、今日のような予算提案をさせていただいているということですが、非常に不規則に雪が降るといふことと、異常な状態が続くということですから、長期予報をちょっと見ますと、長期予報で少し安定してくるかなというふうに思えばいいなと思っておりますけれども、平年と同様に「曇りや雪の日が多い」という表現ですね。これは1月を見ても、2月を見ても、3月を見ても、それぞれ同じ表現になっていまして、どうも非

常に危険だなということで、予算については、その点も含めて目いっぱい取らせています。備荒資金にも当然限界があるわけですが、しかし今のところ何とか国や道に応援を求めながらやっていきたいということで、実は排雪している最中もグレーダーが壊れまして、これはもう排雪できないのではないかという状態でありましたけれども、いろいろお願いしたら道のほうが快く、グレーダー、では三笠市に貸してあげようということで貸し出してくれました。それで今、動かしている最中であります。

今後しっかり取り組んでまいりますので、議員のお言葉をお借りすれば、もうちょっとだけ辛抱していただければありがたいなど。何とか落ち着いてくるのではないかなというふうに期待は私申し上げているということでございますので、そんなことで市民も御理解を得ながら取り組んでいきたいというふうに思います。

◎議長（武田悌一氏） ほかに質疑のある方。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 質疑ないようですから、質疑を終了します。

お諮りします。

議案第1号については、委員会付託を省略し、即決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認め、委員会付託を省略することに決定しました。

これより、討論、採決を行います。

議案第1号について討論を行います。

（「なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 討論ないようですから、討論を終了します。

続いて、採決を行います。

議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（武田悌一氏） 御異議なしと認めます。

議案第1号令和2年度三笠市一般会計補正予算（第11回）については、原案のとおり可決することに決定しました。

以上で、今臨時会に付議された事件は、全て終了しました。

---

## ◎閉 会 宣 告

---

◎議長（武田悌一氏） これをもちまして、令和3年第1回三笠市議会臨時会を閉会します。

御苦労さまでした。

閉会 午前10時34分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員